



北海道総合開発計画に貢献する農水産物輸出促進基盤整備事業の取組について

苫小牧港西港区汐見地区では、国の新たな輸出成長分野として見込まれる農水産物の輸出増加に対応するため、水産物の高度衛生管理の取組により、輸出の拡大に貢献するため屋根付き岸壁の整備が行われています。



苫小牧港西港区

苫小牧港 西港区 汐見地区



平成29年度
苫小牧港西港区-3m物揚場改良工事

物揚場(-3m)(改良) 総延長251m



整備後の水揚げ作業の様子



イメージパース

農水産物輸出促進基盤整備事業とは

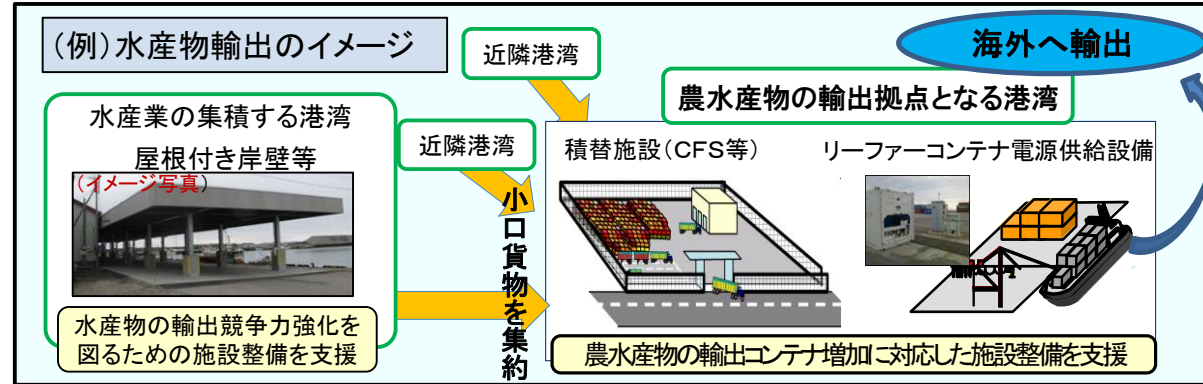
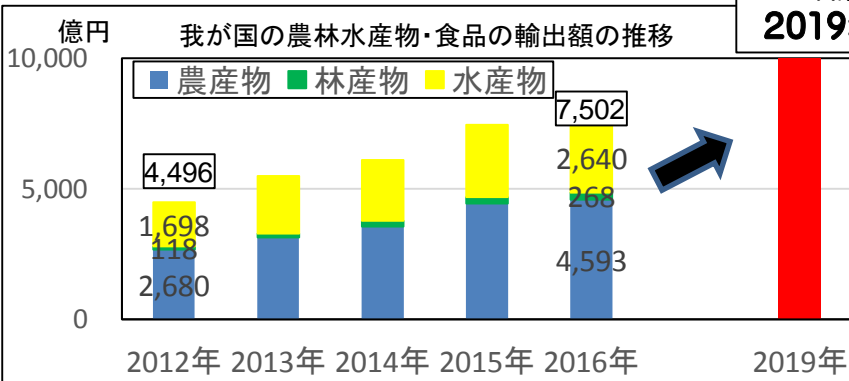
○国は新たな輸出成長分野として見込まれる農水産物の輸出増加に対応するため、農水産物の輸出に戦略的に取組む港湾において、農水産物の輸出促進に資する港湾施設の整備を支援しています。

政府目標：
2019年に1兆円

これを
もとに

■港湾管理者が農水産物の輸出促進のための行動計画を策定し、国土交通省が認定した場合に以下の基盤整備を支援しています。

- ・輸出拠点となる港湾における小口貨物積替円滑化支援施設やリーファーコンテナ蔵置時の電源供給設備の整備
※リーファーコンテナ・冷凍や冷蔵の温度管理ができるコンテナ
- ・水産業の集積する港湾における水産物の輸出競争力強化を図るために実施する屋根付き岸壁等の整備



室蘭開発建設部管内における事業

苫小牧港 西港区 汐見地区の岸壁の整備ほか

◎ 農水産物輸出促進に向けた屋根付き岸壁の整備効果

・苫小牧港では、北海道6港湾の港湾管理者が連携して策定し、平成29年5月に国土交通省から全国初の認定を受けた「**農水産物輸出促進計画**」に基づき、水産物の輸出競争力強化のための**屋根付き岸壁**の整備及び民間事業者による**大型冷蔵庫**の整備が進められている。

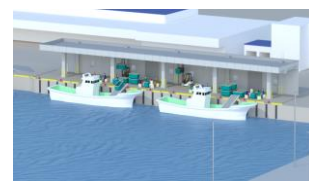
課題

- ・物揚場エプロンのひび割れや上部工の劣化など**老朽化の進行**
- ・強風による船体動揺で**係留の安全性が低下**
- ・暴風寒冷下における**劣悪な作業環境**や**作業効率の低下**
- ・水揚げした水産物への**鳥害・異物混入**



苫小牧港（輸出拠点港湾・連携水揚港湾）

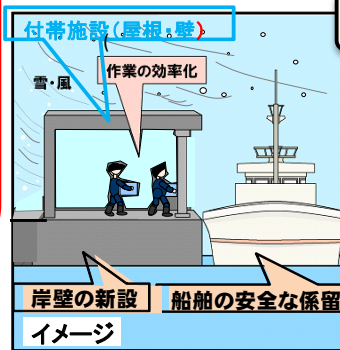
- ・苫小牧埠頭(株)による温度管理型大型冷凍・冷蔵倉庫の建設（31年4月操業予定、総事業費約60億円）
- ・屋根付き岸壁の整備
- ・対象魚種 すけとうだら、さけ、ほっきがい、松川かれい



コンテナ船等により輸出

効果

- 計画的な改良工事の実施により、物揚場施設が**延命化**
- 風を防ぐことで、**船舶係留の安全性が向上**
- 風や雪を防ぐことで、施設利用者の**就労環境が改善**
- カラス・カモメなどの鳥害や異物混入を防ぐことで、**水産品の品質確保**



高品質な水産品の効率的な流通体制の確保により水産品の輸出拡大に貢献